

平成 28 年度 合同出前講座開催実績

平成 28 年 6 月 10 日 (金)

- ・場所 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

午前の部 (10:00~12:00)

- ・対象：大阪府立今宮工科高校の 3 年生 39 名
- ・内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接の組立及び実技体験

午後の部 (13:30~15:30)

- ・対象：大阪市立都島工業高校の 3 年生 61 名
- ・内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接の組立及び実技体験

平成 28 年 10 月 18 日 (火)

- ・場所 大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

午前の部 (10:00~11:45)

- ・対象：大阪府立西野田工科高校の 2 年生 82 名
- ・内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

午後の部 (12:30~14:15)

- ・対象：大阪府立布施工科高校の 2 年生 40 名
- ・内容・とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

平成 28 年 10 月 20 日 (木)

- ・場所：大阪府立東大阪高等職業技術専門学校

午前の部 (10:00~12:00)

- ・対象：修成建設専門学校の 1 年生 124 名
- ・内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験+

午後の部 (13:00~15:00)

- ・対象：修成建設専門学校の 1 年生 126 名
- ・内容：とび、鉄筋、型枠大工、圧接、左官の組立及び実技体験

受講者数の合計は 472 名

平成 28 年度・合同出前講座を終えての感想（抜粋）

Q. これまでの建設業に対するイメージと受講後の感想をお書きください

第 1 回合同出前講座 6 月 10 日（金）

○大阪府立今宮工科高校

- ・堅苦しい現場で仕事をしているイメージだったが、優しく教えてもらって色々と理解することができイメージが変わった。
- ・大変そう、やっぱり大変そうだった。職人さんはしんどいなあと思った。
- ・とび工事は適当に組んでいるのかと思っていたけど、ミリ単位の仕事だということを知ってもらった。
- ・建設業はとても技術が必要な職業だとよく分かった。
- ・しんどいだけの仕事だと思っていたけど、今回の講座を受けてとても楽しそうな仕事だなと思った。また仕事にやりがいがあるのだろうと思い興味も湧きました。
- ・学校では実技が少ないので本当にこういう体験が楽しいです。
- ・職人さんは一つひとつの作業が早くて正確でとにかくすごかった。
- ・いつもは現場をみている側だけど、実際にやってみると難しかった。

○大阪市立都島工業高校

- ・計画コースで設計ばかりだったので、こういった体験は新鮮だった。百聞は一見にしかずとはまさにこのことだと思った。
- ・今回の講座でどの職種にも興味を湧いた。どれももっと知りたいと思った。
- ・授業等でやったことを実際に見て体験できたのですごく参考になった。
- ・溶接と圧接の違いがはっきりと分かった。
- ・正直あまりイメージは変わらなかったが、建設業にも色々な職種があるのを知った。
- ・仕事の拘束時間が長く体力面の疲労が多い、「見て覚えろ」のイメージだったが、予想よりも優しく教えてもらった。
- ・現場の職人さんは技術が大切だということが今まで以上に深く理解できた体験だった。
- ・これまではしんどい仕事だと思っていたのが、やりがいがある仕事だと思った。
- ・今まで建設業は力仕事だけと思っていたが、思っていたより技術の方が大切だったので意外だった。
- ・厳しい人の多いイメージだったが優しい人が多かった。

第2回合同出前講座 10月18日(火)

○大阪府立布施工科高校

- ・建設業は世の中になくはないものだと思います。これからの自分の進路選択の参考にしたい。
- ・建設業は力仕事が多いというイメージだったが、意外と力より技術が求められる仕事だと改めて思った。
- ・思っていた以上にしんどくて夏や冬も仕事をするのを考えると大変だと思った。
- ・建設業のイメージはとても難しく僕たちにはできないと思っていたが、職人さんたちに教えてもらい少しだが身近なものに感じる事ができた。
- ・どれも簡単だと思っていたが、どの職種もすごく難しいことが分かった。
- ・建設業は色々な職種があることが分かりとても勉強になった。
- ・僕は鉄筋試験を受けるので今回の講座を受けてすごく勉強になった。
- ・今までは人目に付かない所で活躍して表には出てこないイメージだったが、受講後は人目に付く仕事もあることが分かった。
- ・技術がすごいイメージだったが、本当に素人がまねできるようなものではないと思った。
- ・5つの職種を体験できてとても良かった。とび、型枠大工に興味を持った。

○大阪府立西野田工科高校

- ・どの職種も初めて触れる道具ばかりでとても良い経験になった。この経験をこれからの進路決定に役立てていきたい。
- ・自分は体を動かすのが好きなのでとびや型枠大工の作業が楽しかった。卒業したら建築の仕事をしたかった。
- ・皆さんには怖いイメージを持っていたが、優しく教えてもらってうれしかったです。
- ・見えないところですごく頑張っていることが分かった。自分もそういう仕事に就きたいと思った。
- ・今まではそんなに良いイメージはなかったけど、今日の講座を受けてイメージがだいぶ変わった。良い経験になった。
- ・親の仕事が型枠大工なので帰ってまた色々話をしたいと思った。
- ・どの職種も職人さんの技術が大事で職人さんのしていることのすごさを知りました。
- ・時間が短すぎたからもっとゆっくり、じっくりやりたかった。
- ・左官が楽しかったので仕事でやりたい。

第3回合同出前講座 10月20日(木)

○修成建設専門学校

- ・教科書で見たことのある単語や方法など図上では想像しにくかったものを実際に見るととても分かりやすく興味を持つことができた。
- ・全職種の講座で工具の使い方や安全に関することを丁寧に教えてもらいよく理解できた。
- ・左官は楽しくできたし面白かった。とびの仕事もカッコ良くてすばらしかった。
- ・今回の貴重な体験をこれからの勉強や社会に出た時に生かしていきたい。
- ・鉄筋と鉄筋を固定する作業が体験で一番楽しかった。
- ・受けた講座だけで家は建たないのは充分承知していますが、でも一つの経験としてはとても良かったと思う。
- ・専門職の方は想像通りの方が多かった。男という感じがしてとても良かった。
- ・一つひとつの講座の説明がとても分かりやすかった。
- ・鉄筋や型枠は授業でやったことがあったけど、更に分かりやすくて良かった。
- ・色々な人、色々な仕事が合わさって一つの現場ができていることが分かった。
- ・鉄筋の継手は教科書でしか見たことがなく、実際に圧接を見た時は感動した。
- ・型枠大工が楽しかった。職人になりたいと思っていたので本当に良い体験ができた。
- ・職人業は何かと大変な仕事だと思っていたが、今回体験してみて意外と楽しさもあるのだなと思った。

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2016年(平成28年)10月24日(月曜日) (第三種郵便物認可)

5職種で合同出前講座

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)と近畿建設躯体工業協同組合(山本正憲理事長)、大阪府左官工業組合(邑智保則理事長)、関西圧接業協同組合(濱野功理事長)は18、20の両日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門学校で合同出前講座を開いた。大阪府立西野田工科高校、府立布施工科高校、修成建設専門学校(生徒計350人余が参加し、専門工事の5職種(とび、鉄筋、型枠、左官、圧接)の仕事を経験した。

来賓として国土交通省や近畿地方整備局、大阪労働局、建設業振興基金、大阪府、奈良県建設業協会やゼネコンの担当者らが駆けつけ、講座の様子を見守った。

在阪専門工事業4団体



冒頭のあいさつでは各団体の代表者が「ものづくりの重要性を理解してもらいたい」「ぜひ専門工事業を就職先という目線で見てもらいたい」「仕事の難しさを体感し、今後の経験にしろってもらいたい」「楽しんでもら

いたい」などとあいさつした。とびと鉄筋については、高校生でも取得可能な3級技能士資格の検定モデルを設置し、生徒は5班に分かれてローテーションで各職種の作業を体験。熟練した講師の丁寧な手ほどきを受けながら、左官の壁塗りや鉄筋の結束、型枠組み立てなどの作業を楽しんでいた。

出前講座はそれぞれの組合が学校に向いて実施してきたが、昨年から複数の専門工事業団体が連携し、学校側に来てもらう形としている。今回から大阪府左官工業組合が加わって5職種を一度に体験できるようになり、専門工事業をより体系的に理解しやすい内容となっている。

建設工業新聞

10月25日

火曜日

第19049号

東大阪市で 合同出前講座

関西鉄筋協組ら

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)、近畿建設躯体工業協同組合(山本正憲理事長)、関西西庄接業協同組合(濱野功理事長)、大阪府左官工業組合(呂智保則理事)は20日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門学校で合同出前講座を開いた。写真。―建設産業担い手確保・育成コンソーシアム―に



おける取り組みの一環で、今回は修成建設専門学校(学生201人)が参加し、躯体と左官の計5職種を体験した。

この合同出前講座は、10年度から出前講座に取り組み、関西鉄筋工業協同組合が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による魅力発信」を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協同組合、関西西庄接業協同組合と連携して行っている。取り組みで、今秋から大阪府左官組合も合流。

本年度は、6月の第1回に府立今宮工科高校と大阪市立都島工業高校の生徒100人が参加したほか、10月18日の第2回には府立西野田工科高校と府立布施工科高校の生徒122人が参加。当日は国土交通省土地・建設産業局の木村実建設市場

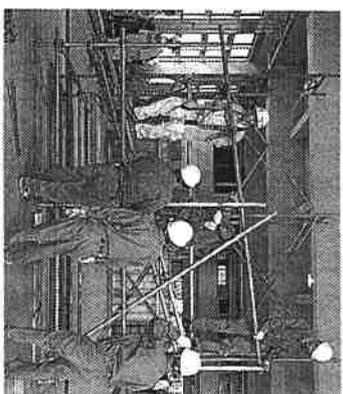
整備課長ら多くの来賓が取り組みを視察した。

この日の出前講座では、午前の部、午後の部とも3級鉄筋組み立て技能検定の実技試験課題となる柱・梁の結束や、柱・壁の型枠取り付け、枠組応用登り桟橋の組み立て、鉄筋のガス圧接、壁材の塗り付けを体験。学生らは各工種15分という短い時間ながらも真剣な表情で作業に打ち込んだ。

左官が加わった今回の出前講座について、関西鉄筋工業協同組合の戸田裕雄副理事長は「一つの職種に対する時間配分などに課題はあるが、もっと広げていきたい」と強調。修成建設専門学校(校長)の釜友知與子氏は「体験することで教室で学んだことの理解度が深まっているようだ」と話している。



鉄筋の組み立て



とびの作業

出前講座で高校生が4職種体験 関西鉄筋、近畿躯体、関西圧接が合同

関西鉄筋工業協同組合(岩田正吾理事長)と近畿建設躯体工業協同組合(山本正憲理事長)、関西圧接業協同組合(濱野功理事長)は10日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等学校で合同出前講座を開いた。午前は大阪府立今宮工科高校の3年生89人、午後は大阪市立都島工業高校3年生61人が参加し、専門工事の仕事内容とその楽しさを体験した。

とびと鉄筋については、高校生でも取得可能な3級技能士資格の検定モデルを設置。生徒は4班に分かれ、熟練した講師の丁寧な手ほどきを受けながらとび、型枠、鉄筋、圧接の各作業を体験。慣れない手つきでハッカーを使った鉄筋の結束などの作業を楽しんでいた。

出前講座はそれぞれの組合が学校

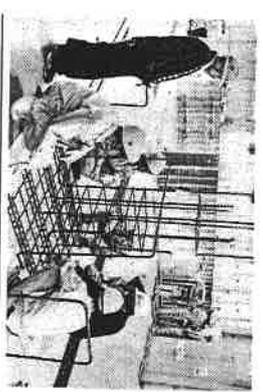
に出向いていたが、昨年からは3組合が連携し、学校側に来てもらう形としている。秋に開催する合同出前講座には、大阪府左官工業組合も加わり、より充実した内容になるという。岩田理事長は「出前講座はものづくりの重要性和楽しさを知ってもらうために開いているが、今後は学生の3級試験対策の場ともなり、実技の講習と試験というシステムができることになる。この教育システムをさらに発展させ、いずれは小学生や中学生にも参加できるようにしたい」、山本理事長は「専門工事業には昔の3Kのイメージがあると思うが、われわれは若手技能者の確保・育成のため新3K(給与・休暇・希望)の実現を目指している。参加した生徒にはそういったことも理解してもらいたい」と述べた。

合同出前講座開く

関西鉄筋協組ら3協組 高校生が躯体工事の作業体験

関西鉄筋工業協同組合の事業として行っている(岩田正吾理事長)、近畿建設躯体工業協同組合(山本正憲理事長)、関西工科大学の3年生39人、大阪府立都島工業高等学校(瀧野功理事長)は10日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門学校で合同出前講座を開いた。出席者は「建設産業担い手確保育成コンソーシアム」10年度から出前講座を実施している関西鉄筋工業協組ら3協組の3年生1人が躯体工事に関する一連の作業を体験した。本年度は秋に第2回を開催する予定だ。

この合同出前講座は、協組が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による建設業の魅力発信を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協組、関西鉄筋協組と連携して行っている取り組み。本年度初となった今回



は、午前の部に今宮工科大学、午後の部に都島工業高が参加。来賓として国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の中野次郎調整係長をはじめ、近畿地方整備局や大阪労働局、建設業振興基金、奈良県建設業協会の担当者が視察に訪れた。

授業では冒頭、関西鉄筋の職種を体験してもらった。おもしろいと感じた人も、きょうの体験を通じて「皆さんは将来、施工管理や設計に進まれるところだが、今はどんな仕事の参考にしてほしい」と思っているのが、具体的なアドバイスを求めている。この合同出前講座は、協会が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による建設業の魅力発信を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協組、関西鉄筋協組と連携して行っている取り組み。本年度初となった今回

は、午前の部に今宮工科大学、午後の部に都島工業高が参加。来賓として国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の中野次郎調整係長をはじめ、近畿地方整備局や大阪労働局、建設業振興基金、奈良県建設業協会の担当者が視察に訪れた。

授業では冒頭、関西鉄筋の職種を体験してもらった。おもしろいと感じた人も、きょうの体験を通じて「皆さんは将来、施工管理や設計に進まれるところだが、今はどんな仕事の参考にしてほしい」と思っているのが、具体的なアドバイスを求めている。この合同出前講座は、協会が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による建設業の魅力発信を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協組、関西鉄筋協組と連携して行っている取り組み。本年度初となった今回

は、午前の部に今宮工科大学、午後の部に都島工業高が参加。来賓として国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の中野次郎調整係長をはじめ、近畿地方整備局や大阪労働局、建設業振興基金、奈良県建設業協会の担当者が視察に訪れた。

授業では冒頭、関西鉄筋の職種を体験してもらった。おもしろいと感じた人も、きょうの体験を通じて「皆さんは将来、施工管理や設計に進まれるところだが、今はどんな仕事の参考にしてほしい」と思っているのが、具体的なアドバイスを求めている。この合同出前講座は、協会が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による建設業の魅力発信を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協組、関西鉄筋協組と連携して行っている取り組み。本年度初となった今回

は、午前の部に今宮工科大学、午後の部に都島工業高が参加。来賓として国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課の中野次郎調整係長をはじめ、近畿地方整備局や大阪労働局、建設業振興基金、奈良県建設業協会の担当者が視察に訪れた。

授業では冒頭、関西鉄筋の職種を体験してもらった。おもしろいと感じた人も、きょうの体験を通じて「皆さんは将来、施工管理や設計に進まれるところだが、今はどんな仕事の参考にしてほしい」と思っているのが、具体的なアドバイスを求めている。この合同出前講座は、協会が「より効率的な出前講座のシステム構築」と「より多くの職種体験による建設業の魅力発信を目的に、15年度から近畿建設躯体工業協組、関西鉄筋協組と連携して行っている取り組み。本年度初となった今回



出前講座の様子

